

## はじめに

子どもの読書活動は、子どもたちが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていくうえで欠くことのできないものです。

そこで、県教育委員会では、平成16年1月に「かながわ読書のススメ～神奈川県子ども読書活動推進計画～」（第一次計画）を、平成21年7月には「第二次計画」を策定しました。そして、家庭や地域、学校、あるいは市町村や社会教育関係団体等における子どもの読書活動の推進を図るため、さまざまな取組を実施してきました。特に、第二次計画の期間中には、読み聞かせなどの活動を行うボランティア団体が増え、県立図書館を中心に市町村図書館等との間の図書相互貸借が活発になるなど、読書環境の整備が進んできました。

このたび、これまでの取組の成果と課題をふまえ、子どもたちの読書活動をさらに推進し、すべての子どもが本に親しみ、自主的に読書を行えるよう、今後概ね5年間の県の施策の具体的な方向を示す「第三次計画」を策定しました。

この計画では、『「いつも そばに 一冊の本を」～本との出会い、本から拓く心のつながりを大切に～』をスローガンに据え、平日の一日の読書量が10分以上の子どもの割合を数値目標として位置づけました。また、重点取組として、新たに『「子どもと本とをつなぐ」プロジェクト』を掲げ、子どもの読書活動に携わる多くの方々との連携のもと、「ファミリー読書の推進」や「学校図書館の利用の促進」などに積極的に取り組むこととしました。皆さまには、より一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、本計画の策定にあたり、県の子ども読書活動の推進にご協力をいただいております「神奈川県子ども読書活動推進会議」の委員の方々をはじめ、県民の皆さまから貴重なご意見、ご提言をいただきました。深く感謝申し上げます。

平成26年4月

神奈川県教育委員会